



令和4年12月26日

養介護施設従事者等による高齢者虐待状況の公表について

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律第25条の規定に基づき、令和3年度の高齢者虐待の状況[※]を別添のとおり公表します。

また、今般、国による調査結果が公表されたことに伴い、養護者による虐待についても、併せて公表します。

※「養介護施設従事者等による高齢者虐待」とは、高齢者の福祉・介護サービス業務に従事する者による高齢者虐待をいい、毎年度、県が公表することとなっています。

問い合わせ先

大分県福祉保健部高齢者福祉課

地域包括ケア推進班 白岩、佐藤

TEL 097-506-2694（直通）

（内線）2694

令和3年度 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果（大分県）

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」第25条の規定に基づき、令和3年度の養介護施設従事者等及び養護者による高齢者虐待について、以下のとおり公表する。

1 養介護施設従事者等による高齢者虐待についての対応状況等

養介護施設従事者等による高齢者虐待に関する相談・通報件数は23件であり、市町村が事実確認を行った結果、虐待を受けた又は受けたと思われると判断した事例（以下「虐待判断事例」という。）は調査開始以来、過去最多の11件であった。

相談・通報件数は令和2年度が14件であり9件増加。また虐待判断事例の件数は、令和2年度が0件であり11件増加した。（内容等は別紙）

2 養護者による高齢者虐待についての対応状況等

養護者による高齢者虐待に関する相談・通報対応件数は318件であり、市町村が事実確認を行った結果、虐待判断事例は150件であった。

令和2年度は174件であり、24件減少（-14.0%）した。

（1）相談・通報対応件数

令和3年度に市町村で受け付けた養護者による高齢者虐待に関する相談・通報件数は318件であり、前年度に比べ9件減少（-2.7%）した。

相談・通報件数

	令和3年度	令和2年度	増減
件数	318	327	-9 (-2.7%)

（2）相談・通報者

	介護支援専門員 (ケアマネジャー)	介護保険事業所職員	医療機関従事者	近隣住民・知人	民生委員	被虐待者本人	家族・親族	虐待者自身	当該市町村行政職員	警察	その他	不明 (匿名を含む)	合計
人数	36	8	15	9	5	33	36	5	18	186	44	3	398
構成割合 (%)	9.0%	2.0%	3.8%	2.3%	1.3%	8.3%	9.0%	1.3%	4.5%	46.7%	11.1%	0.8%	100.0%

（注）本調査対象年度内に通報等を受理した事例について集計

構成割合は、相談・通報者の合計人数名に対するもの

1つの事例で複数の者からの相談・通報がある場合があり、受理件数とは一致しない

構成割合の算出方法は、厚生労働省が発表する調査結果における算出方法と異なる場合がある

(3) 事実確認の状況

①調査の状況

	件数	構成割合 (%)
事実確認調査を行った事例	274	84.6%
立入調査以外の方法により調査を行った事例	271	(83.6%)
訪問調査を行った事例	114	[35.2%]
関係者からの情報収集のみで調査を行った事例	157	[48.5%]
立入調査により調査を行った事例	3	(0.9%)
警察が同行した事例	2	[0.6%]
援助要請をしなかった事例	1	[0.3%]
事実確認調査を行っていない事例	50	15.4%
相談・通報を受理した段階で、明らかに虐待ではなく事実確認調査不要と判断した事例	49	(15.1%)
相談・通報を受理し、後日、事実確認調査を予定している又は事実確認調査の可否を検討中の事例	1	(0.3%)
合 計	324	100.0%

(注) 本調査対象年度内に通報等を受理した事例、及び対象年度以前に通報等を受理し事実確認調査が対象年度となった事例について集計

(4) 事実確認調査の結果

県内の市町村での虐待判断事例の件数は150件であった。令和2年度は174件であり、24件減少した。

①調査の結果

	件数	構成割合
虐待を受けた又は受けたと思われる判断した事例	150	54.7%
虐待ではないと判断した事例	86	31.4%
虐待の判断に至らなかった事例	38	13.9%
合 計	274	100.0%

(注) 構成割合は、事実確認を行った件数に対する割合である

(5) 虐待の発生要因 [複数回答]

		件数	構成割合 (%)	
虐待者側の要因	a) 介護疲れ・介護ストレス	45	30.0	
	b) 虐待者の介護力の低下や不足	37	24.7	
	c) 孤立・補助介護者の不在等	31	20.7	
	d) 「介護は家族がすべき」といった周囲の声、世間体に対するストレスやプレッシャー	11	7.3	
	e) 知識や情報の不足	35	23.3	
	f) 理解力の不足や低下	51	34.0	
	g) 虐待者の外部サービス利用への抵抗感	27	18.0	
	h) 障害・疾病	67	44.7	
	i) 障害疑い・疾病疑い	36	24.0	
	j) 精神状態が安定していない	79	52.7	
	k) ひきこもり	15	10.0	
	l) 被虐待者との虐待発生までの人間関係	96	64.0	
	m) 家族環境（生育歴・虐待の連鎖）	32	21.3	
	n) 他者との関係のとりづらさ・資源への繋がりがづらさ	42	28.0	
	o) 飲酒の影響	32	21.3	
	p) 依存（アルコール、ギャンブル、関係性等）	19	12.7	
	q) その他	19	12.7	
	被虐待者の状況	a) 認知症の症状	45	30.0
		b) 精神障害（疑いを含む）、高次脳機能障害、知的障害、認知機能の低下	30	20.0
c) 身体的自立度の低さ		36	24.0	
d) 排泄介助の困難さ		25	16.7	
e) 外部サービス利用に抵抗感がある		13	8.7	
f) 障害・疾病		29	19.3	
g) 障害疑い・疾病疑い		17	11.3	
h) その他		15	10.0	
家庭の要因	a) 経済的困窮（経済的問題）	36	24.0	
	b) 家庭内の経済的利害関係（財産、相続）	33	22.0	
	c) （虐待者以外の）他家族との関係の悪さほか家族関係の問題	50	33.3	
	d) （虐待者以外の）配偶者や家族・親族の無関心、無理解、非協力	29	19.3	
	e) その他	8	5.3	
その他	a) ケアサービスの不足の問題	16	10.7	
	b) ケアサービスのミスマッチ等マネジメントの問題	2	1.3	
	c) その他	5	3.3	

(6) 虐待の内容

①虐待の種別・類型 [複数回答]

種類	身体的虐待	介護等放棄	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	合計(累計)	合計(人数)
件数	124	13	65	2	18	222	156
構成割合 (%)	79.5%	8.3%	41.7%	1.3%	11.5%	—	—

(注) 調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数（人）について集計

構成割合の算出方法は、厚生労働省が発表する調査結果における算出方法と異なる場合がある

②虐待の深刻度

	人数	構成割合 (%)
4 (最重度)	4	2.6%
3 (重度)	12	7.7%
2 (中度)	47	30.1%
1 (軽度)	93	59.6%
合計	156	100.0%

(注) 調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

(7)被虐待高齢者・虐待者の状況

①被虐待高齢者の性別

	男	女	不明	合計
人数	43	113	0	156
構成割合 (%)	27.6%	72.4%	0.0%	100.0%

(注) 調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

②被虐待高齢者の年齢

	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90歳 以上	不明	合計
人数	17	39	34	26	24	16	0	156
構成割合 (%)	10.9%	25.0%	21.8%	16.7%	15.4%	10.3%	0.0%	100.0%

(注) 調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

③被虐待高齢者の介護保険の申請

	未申請	申請中	認定済み	認定非該当 (自立)	不明	合計
人数	90	3	55	7	1	156
構成割合 (%)	57.7%	1.9%	35.3%	4.5%	0.6%	100.0%

(注) 調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

④③のうち、介護保険認定済者の要介護度

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
人数	9	5	20	9	7	3	2	0	55
構成割合 (%)	16.4%	9.1%	36.4%	16.4%	12.7%	5.5%	3.6%	0.0%	100.0%

(注) ③のうち、介護保険認定済者の実人数について集計

⑤③のうち、介護保険認定済者の認知症日常生活自立度

	自立又は 認知症 なし	自立度 Ⅰ	自立度 Ⅱ ①	自立度 Ⅲ ②	自立度 Ⅳ ③	自立度 Ⅴ ④	認知症 はある が自立 度不明 ⑤	認知症 の有無 が不明	合計
人数	5	10	24	12	2	2	0	0	55
構成割合 (%)	9.1%	18.2%	43.6%	21.8%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	100.0%

(注) ③のうち、介護保険認定済者の実人数について集計

⑥③のうち、介護保険認定済者の日常生活自立度（寝たきり度）

	自立	J	A	B	C	不明	合計	日常生活自立度 (寝たきり度) A以上(再掲)
人数	2	14	27	9	3	0	55	39
構成割合 (%)	3.6%	25.5%	49.1%	16.4%	5.5%	0.0%	100.0%	70.9%

⑦介護保険サービスの利用

	介護サービスを受けている	過去受けていたが判断時点では受けていない	過去も含め受けていない	不明	合計
件数	45	4	4	2	55
構成割合 (%)	81.8%	7.3%	7.3%	3.6%	100.0%

⑧虐待者との同居・別居の別

	虐待者とのみ同居	虐待者及び他家族と同居	虐待者と別居	その他	不明	合計
件数	90	52	14	0	0	156
構成割合 (%)	57.7%	33.3%	9.0%	0.0%	0.0%	100.0%

(注) 調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

⑨家族形態

	単独世帯	夫婦のみ世帯	未婚の子と同居	配偶者と離別・死別等した子と同居	子夫婦と同居	その他①	その他②	その他③	不明	合計
件数	10	48	50	25	11	11	1	0	0	156
構成割合 (%)	6.4%	30.8%	32.1%	16.0%	7.1%	7.1%	0.6%	0.0%	0.0%	100.0%

『未婚の子』は配偶者がいたことのない子を指す

その他①：その他の親族と同居（子と同居せず、子以外の親族と同居している場合）

その他②：非親族と同居（二人以上の世帯員から成る世帯のうち、親族関係にない人がいる世帯）

その他③：その他（既婚の子も未婚の子も同居、本人が入所・入院、他の選択肢に該当しない場合）

(注) 調査対象年度内に虐待と判断された事例における被虐待者の実人数について集計

⑩被虐待者から見た虐待者の続柄

	夫	妻	息子	娘	息子の配偶者(嫁)	娘の配偶者(婿)	兄弟姉妹	孫	その他	不明	合計
件数	46	14	64	23	2	0	5	8	1	0	163
構成割合 (%)	28.2%	8.6%	39.3%	14.1%	1.2%	0.0%	3.1%	4.9%	0.6%	0.0%	100.0%

(注) 虐待者の人数は、被虐待者ごとにカウントしたため延べ数

(注) 調査対象年度内に虐待と判断された事例における虐待者の延べ人数について集計

⑪虐待者の年齢

	-20歳	20-29	30-39	40-49	50-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90以上	不明	合計
人数	1	6	8	33	26	14	17	18	14	15	9	2	0	163
構成割合(%)	0.6%	3.7%	4.9%	20.2%	16.0%	8.6%	10.4%	11.0%	8.6%	9.2%	5.5%	1.2%	0.0%	100.0%

(8) 虐待事例への対応状況

①分離の有無

	件数	構成割合(%)
被虐待高齢者の保護として虐待者からの分離を行った事例	49	27.4%
被虐待高齢者と虐待者を分離していない事例	71	39.7%
現在対応について検討・調整中の事例	3	1.7%
虐待判断時点ですでに分離状態の事例(別居・入院・入所等)	43	24.0%
その他	13	7.3%
合計	179	100.0%

(注) 本調査の対象となったすべての虐待判断事例における被虐待者について集計

②①で分離を行った場合の対応内容(最初に行った対応)

	件数	構成割合(%)	面会制限を行った事例(内数)
契約による介護保険サービスの利用	4	8.2%	0
老人福祉法に基づくやむを得ない事由等による措置	3	6.1%	2
緊急一時保護	0	0.0%	0
医療機関への一時入院	6	12.2%	1
上記以外の住まい・施設等の利用	18	36.7%	3
虐待者を高齢者から分離(転居等)	14	28.6%	5
その他	4	8.2%	3
合計	49	100.0%	14

③①で分離していない場合の対応内容

		件数	構成割合 (%)
経過観察（見守り）		31	43.7%
経過観察以外の対応	養護者に対する助言・指導	26	36.6%
	養護者が介護負担軽減のための事業に参加	2	2.8%
	被虐待者が新たに介護保険サービスを利用	6	8.5%
	既に介護保険サービスを受けているが、ケアプランを見直し	14	19.7%
	被虐待高齢者が介護保険サービス以外のサービスを利用	8	11.3%
	その他	12	16.9%
合計（累計）		99	—
分離をしていない事例における被虐待者の人数の合計		71	100.0%

(9) 調査対象年度末日での状況

①対応状況の種類

	人数	構成割合 (%)
対応継続	49	27.4%
終結	130	72.6%
合計	179	100.0%

(注) 本調査の対象となったすべての虐待判断事例における被虐待者について集計

【事案1】

被虐待者の状況	60代
虐待の種類	身体的虐待
高齢者虐待の状況	・施設内でのレクリエーション中に目を開かせるために瞼にテープを貼り写真撮影を行った。
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	特別養護老人ホーム
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員

【事案2】

被虐待者の状況	80代
虐待の種類	心理的虐待
高齢者虐待の状況	・トイレ誘導時に強く声かけするなど被虐待者に恐怖心を与えた。
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	特別養護老人ホーム
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員

【事案3】

被虐待者の状況	80代
虐待の種類	身体的虐待
高齢者虐待の状況	・差し出したコーヒーカップを払いのけられ、自分にかかったことに立腹し頭部を叩いた。
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員

【事案4】

被虐待者の状況	60代
虐待の種類	身体的虐待
高齢者虐待の状況	・エレベーターに乗ることを拒否され言い争いとなり体を蹴った。
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	有料老人ホーム(住宅型)
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員

【事案5】

被虐待者の状況	90代
虐待の種類	心理的虐待
高齢者虐待の状況	・排泄介助の際に手荒い介助を行い恐怖心を与えた。
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	サービス付き高齢者向け住宅
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員

【事案6】

被虐待者の状況	70代
虐待の種類	身体的虐待
高齢者虐待の状況	・排泄介助中に勝手に立ち上がったことに立腹し臀部を叩いた。
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	特別養護老人ホーム
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員

【事案7】

被虐待者の状況	90代
虐待の種類	身体的虐待
高齢者虐待の状況	・ベッド移乗時に脱がせた上履きで頭部を叩いた。
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	特別養護老人ホーム
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員

【事案8】

被虐待者の状況	①80代 ②80代
虐待の種類	①②ともに身体的虐待
高齢者虐待の状況	①②本人の意思で居室から出られないように身体を自由を奪った。
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	サービス付き高齢者向け住宅
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員

【事案9】

被虐待者の状況	80代
虐待の種類	身体的虐待
高齢者虐待の状況	・ベッド移乗時に抵抗され頭部を叩いた。
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	通所介護事業所
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員

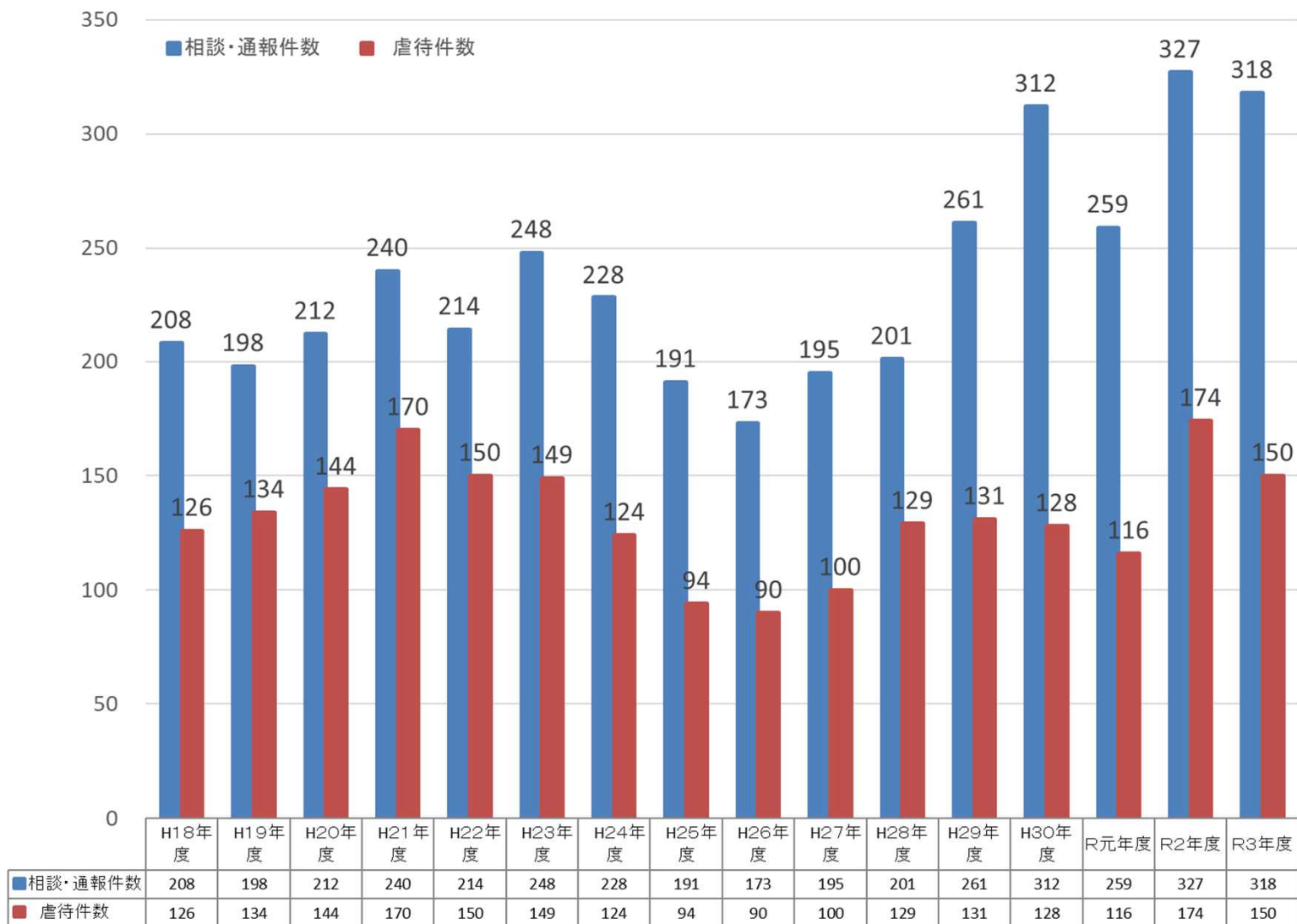
【事案10】

被虐待者の状況	70代
虐待の種類	身体的虐待
高齢者虐待の状況	・施設から抜け出した入居者を連れ戻す際に抵抗され身体 の自由を奪った。
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	有料老人ホーム(住宅型)
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	施設管理者

【事案11】

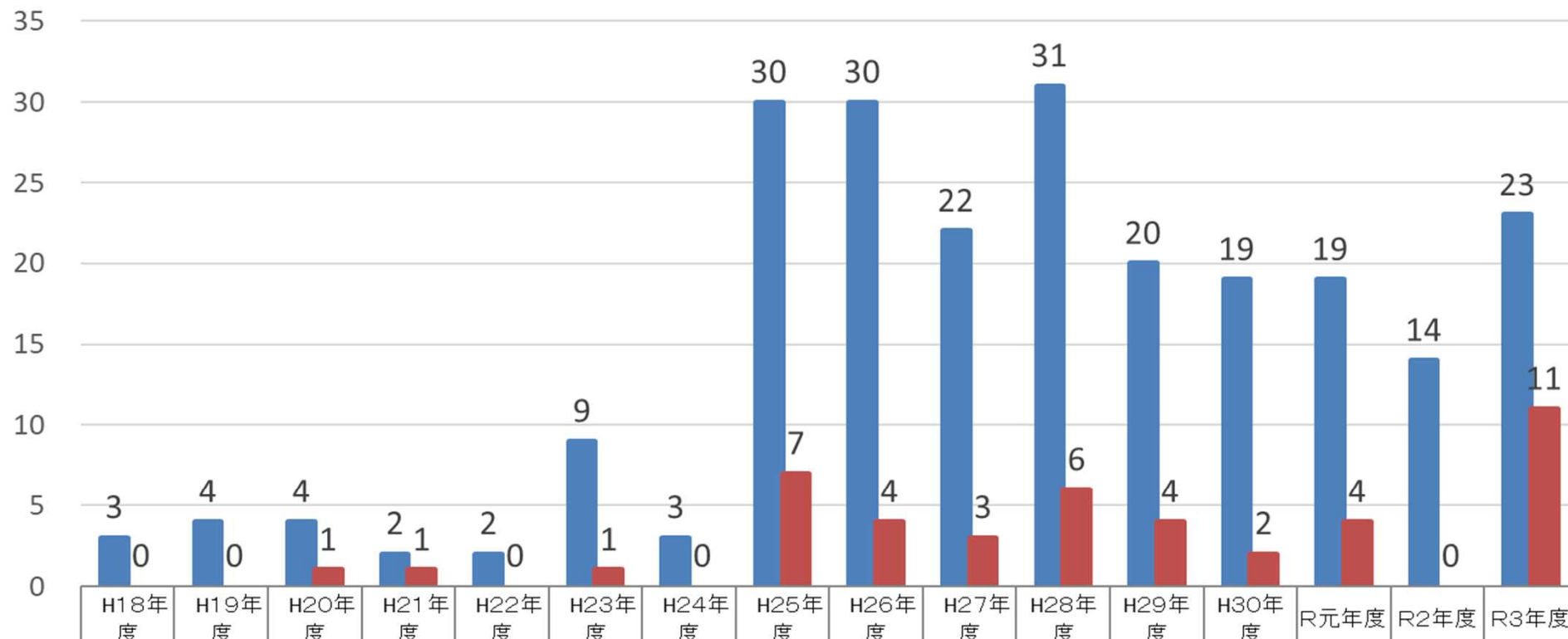
被虐待者の状況	80代
虐待の種類	身体的虐待
高齢者虐待の状況	・夜間の徘徊抑制のため部屋に鍵をかけた
養介護施設従事者等による虐待があった際に とった措置	・施設等に対する指導 ・施設等からの改善計画の提出
虐待のあった養介護施設の種別	有料老人ホーム(住宅型)
虐待を行った養介護施設従事者等の職種	介護職員

養護者による高齢者虐待の対応状況【大分県】



養介護施設従事者による高齢者虐待の対応状況【大分県】

■ 相談・通報件数 ■ 虐待件数



■ 相談・通報件数	3	4	4	2	2	9	3	30	30	22	31	20	19	19	14	23
■ 虐待件数	0	0	1	1	0	1	0	7	4	3	6	4	2	4	0	11